

保護者の皆様

知立市立猿渡小学校

令和4年度 学校評価アンケート（12月実施）の結果について

～ アンケートにご協力をいただき、誠にありがとうございました。～

この文書は分析結果のみお知らせをいたします。数値やグラフは
本校ホームページに掲載していますのでご覧ください。

1 はじめに

本校では、学校教育活動の充実を図り、学校運営改善に生かすことを目的として、毎年学校評価アンケートを実施しております。保護者の皆様へのアンケートに加え、1～6年生の全児童にも学校評価アンケートを実施しました。本年度より「ICT機器の活用を通して児童の主体的に学ぶ態度を育成するとともに基礎基本の定着を目指す授業づくり」を推進しており、評価項目に「ICT機器の有効活用について」の質問を加えました。結果は別紙のとおりです。これを総合的に検討し、学校運営改善に生かすことができるよう精一杯努めてまいります。今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2 学校評価アンケートの結果から**(1) 「お子さんは楽しく学校へ通っている」／「学校へ行くのは楽しいですか」「学級は楽しいですか」**

保護者の方の「そう思う・おおむねそう思う」の回答は、R2：98%→R3：96%→R4：97%であることから、およそ昨年同様、良好なアンケート結果となっています。

児童の気持ちの状況も昨年度より上向き傾向であると考えています。例えば、「学校へ行くのは楽しいですか」に対し、「はい」が R2：86%→R3：78%→R4：83%、「学級は楽しいですか」に対し、「はい」が R2：85%→R3：84%→R4：90%となっています。

この3年間、学校に限らず私たちの生活様式は、コロナ禍での対応となっております。本年度になり「ウィズコロナ（コロナとの共生）」が様々な場で聞かれるようになりました。本校でも、可能な限り「人と関わり合う」教育活動を充実させようと取り組んでおります。保護者の皆様には、このことに対する一定程度のご理解を賜っていると思っております。心より感謝申し上げます。

コロナ対策等で様々な教育活動を検討していく状況はまだまだ続きそうです。今後も学校と家庭とで児童の心身の健やかな成長のために何ができるかを一緒に考え、実際の教育活動に反映していけるよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(2) 「授業」の様子（児童自身の受けとめ方）**「お子さんは授業が楽しく分かりやすいと言っている」／「授業はよくわかりますか」**

保護者の方の「そう思う・おおむねそう思う」の回答は、R2：93%→R3：92%→93%であることから、こちらもおよそ昨年同様の結果となっています。

児童の「はい」は R2：87%→R3：81%→87%でした。「がんばって勉強している」は昨年比6%、「先生の話や友達の意見をしっかり聞いている」は4%、「自分の考えを発表することができる」は10%の増加がみられます。「自分の考えを発表している」との回答が大きく増えたことについては、タブレットの活用によるものが大きいと思っています。現在、App「ロイロノート」を軸に思考・表現活動の充実を図っています（「タブレットの有効活用」については後述します）。引き続き「分かる できる 楽しい授業」の展開を推進します。

(3) 「先生は子どもが努力したことを認めてくれている」「先生は一人一人の子どもを大切に指導している」／「先生に、いじめなど困ったことがあれば相談していますか」

保護者の方の回答では、「先生は子どもが努力したことを認めてくれている」の問いに R2：97%→R3：98%→R4：98%の方が、

「先生は一人一人の子どもを大切に指導している」の問いに R2：98%→R3：96%→98%の方が、「そう思う・おおむねそう思う」との高い評価をいただきました。

児童の回答では、「先生に相談していますか」の問いに、「はい」が R2：67%→R3：68%→71%、「いいえ」が R2：17%→R3：13%→15%でした。学校としてこの15%を重大に受けとめております。今後も引き続き、学級担任を中心に、児童一人一人の変化や言動を、全職員のチーム体制で注意深く見守ることで児童理解を図ってまいります。そして、すべての児童が学級や学年、学校を「安心して過ごせる場所」として感じてもらい、必要なときはしっかり相談できる温かい関係づくりを更に進めてまいります。

保護者の方の回答で、「いじめのない学校づくり」でも「そう思う・おおむねそう思う」が 95%と昨年並みの高評価をいただきました。本校では、児童をよく観察し、思いを受けとめるとともに保護者の皆様の声を聞くことで全職員共通理解のもと、いじめや不登校等諸課題の未然防止と早期発見、迅速かつ適切な対応にチーム体制で取り組んでいます。今後も児童に寄り添い、保護者の皆様と協力し、皆様の声をしっかりと聞きながら児童の健全育成に努めてまいります。

(4) 新設項目「タブレットでの学習に慣れ、効果的に活用している」／「タブレットは学習の役に立っていますか」

新設項目のため前年度との比較はできませんが、保護者の方の回答では「そう思う・おおむねそう思う」が R4：88%、児童では「はい」が R4：91%という結果が出ています。(2)で述べたように「自分の考えを發表することができている」との児童回答率が10%増加していることについては、タブレットを活用することで情報収集や意見交換、発表への意欲が増し、成果が上がっていると児童自身が感じていることによるものと考えております。

一方、タブレットを活用した学びについての課題も見つかっています。最大の課題は学校でも家庭学習にもいえることですが「タブレットをどの学習場面でどのように活用すれば思考力が培われ理解が深まるのか」を検討する必要があります。文部科学省によるGIGAスクール構想が開始されて3年目です。先進校における取り組みを参考にしたり職員間で議論を深めたりすることで課題解決に努め、個別最適化に係る学びを推進したいと思っております。

(5) 全体として

本年度のアンケートでは、保護者の方から昨年度同様の高い評価をいただきました。児童の結果もおよそ昨年同様の回答となっています。学校評価アンケートを通して、保護者の皆様が本校の教育活動についてどのようにお考えなのか、児童の思いや考えはどうかを把握し、成果と課題を見出し整理することで今後の手立てを考える手がかりをいただいております。アンケート結果とまとめは知立市教育委員会はじめ関係機関に情報提供し、連携を深めてまいります。

本校としましては、現状を真摯に受けとめ、児童が校訓にあるように「明るく まじめに がんばる」ことで心身共に健やかに成長できるよう教育活動を充実させてまいります。引き続き本校の教育にますますのご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。